

NatWest



NatWest
Group

2024年度 上半期業績

2024年7月26日



NatWest
Group

ポール・スウェイト
最高経営責任者

有形資本利益率(RoTE)で16.4%を達成

力強い収益力で最終
帰属利益21億ポンドを
計上、一株当たり利益
(EPS)は24.2ペンス

70億ポンド
特記事項を除く収益¹
前年度上半期は74億ポンド

40億ポンド
費用²
前年度上半期は38億ポンド

16.4%
有形資本利益率
前年度上半期は18.2%

資金調達とリスク管理
に強みを発揮、貸出金
償却率は3ベースポ
イント

83%
預貸率
余剰預金720億ポンド³

151%
流動性カバレッジ比率
余剰分545億ポンド⁴

13.6%
普通株式等Tier1比率
2023年度末は13.4%

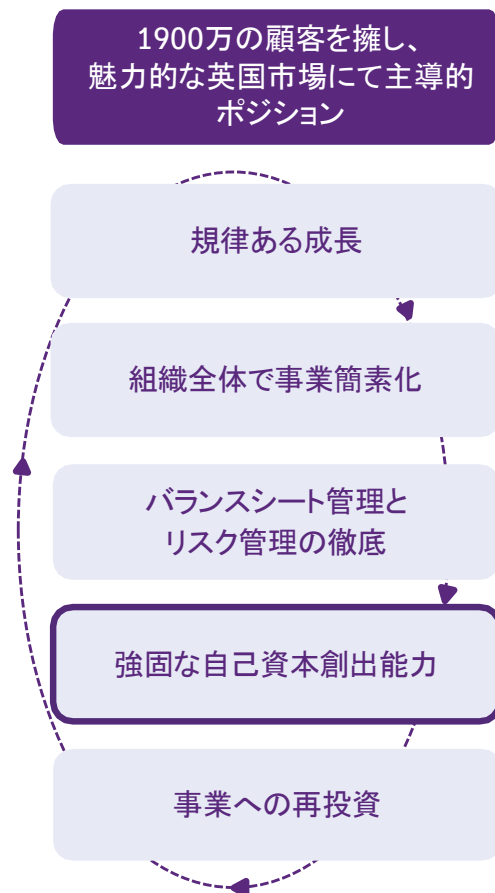
自己資本の内部生成
が継続、株主還元
に17億ポンド⁵

約30ベースポイント
リスクアセット管理で
普通株式等Tier1比率向上

6ペンス
一株当たり普通株配当金
2023年上半期対比で9%増

12億ポンド
政府保有の株式バイバック
2024年5月

持続可能な長期的バリュー創造に焦点



株主にとって魅力的な利益還元

2024年度上半期の株主還元

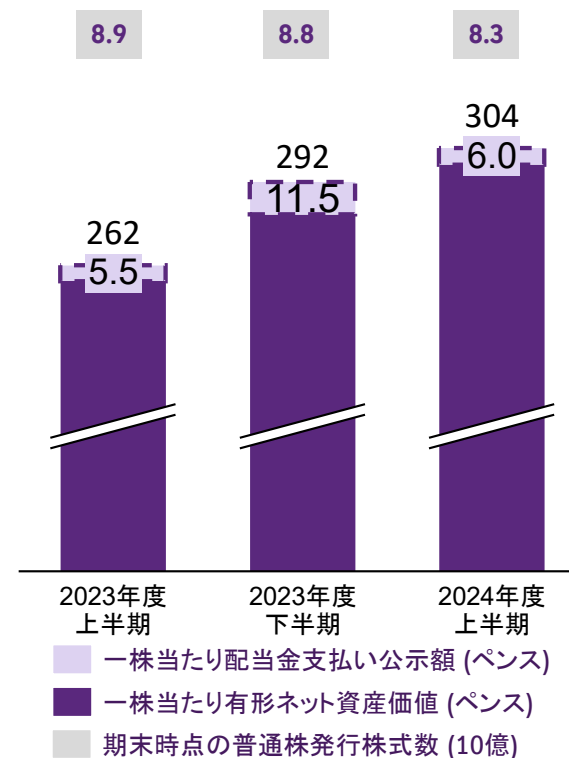
17億ポンド
株主への利益還元総額¹

6ペンス
中間配当金
2023年度上半期対比で
9%増

12億4千万ポンドのバイバック
政府の保有率が2023年度末
38%から20%以下に低下



株主バリューを創出



戦略上の優先事項—2024年度上半期中の達成状況

規律を持たせた事業拡大

- **顧客ベースの拡大継続** 22万件の増加¹
- **ターゲット業態で徐々に拡大**
事業向けミドルマーケットの顧客への貸出金が18億ポンド増加²
管理資産が43億ポンドの増加(11%増)
クレジットカードの市場シェアが0.5%拡大し9.0%に³
- **外部事業の取得・取り込みを加速**
セインズベリー銀行のトランザクション
メトロ銀行モーゲージ融資ポートフォリオ⁴

安定的な収入ストリームを確立

組織全体で 事業簡素化

- **戦略上のハブを3か所から2か所へ**
2025年末までにポーランドから撤退を公表
- **プラットフォームとチャネル**
電話通信システムを20か所から5か所へ削減
為替スポットのオンボーディングを7日から1日へ短縮
- **スケール掌握とAIの活用** 生成
系AIの導入でデジタルアシスタント「Cora+」
のサービス開始
詐欺防止策の拡充で損失を圧縮

生産性と効率性が向上

バランスシート管理および リスク管理の徹底

- **積極的な流動性管理**
預金ミックスを安定させ、61億ポンドの預金残高増加
- **43億ポンドのリスクアセット管理**
リスク移転と対信用リスク保険を活用
- **17億ポンドの利益還元** 政府保有の
自社株バイバック12億4千万ポンドおよび
中間配当金5億ポンド(一株当たり6ペンス)

自己資本内部生成力と
利益還元能力が向上

株主への魅力的な利益還元

2024年度ガイダンスを上方修正 ¹			
総収入	その他営業費用	貸出金償却率	有形資本 利益率(RoTE)
140億ポンド程度 ²	2023年度対比で ほぼ横ばい ³	15ベース ポイント以下	14%以上

目標値	
2026年度の有形資本利益率(RoTE): 目標値は13%以上	
普通株配当金配当率 40%程度	政府保有株のバイバック余地を確保
普通株式等Tier1(CET1)比率を13~14%の範囲に	



NatWest
Group

ケイティ・マレイ

チーフ・フィナンシャル・オフィサー

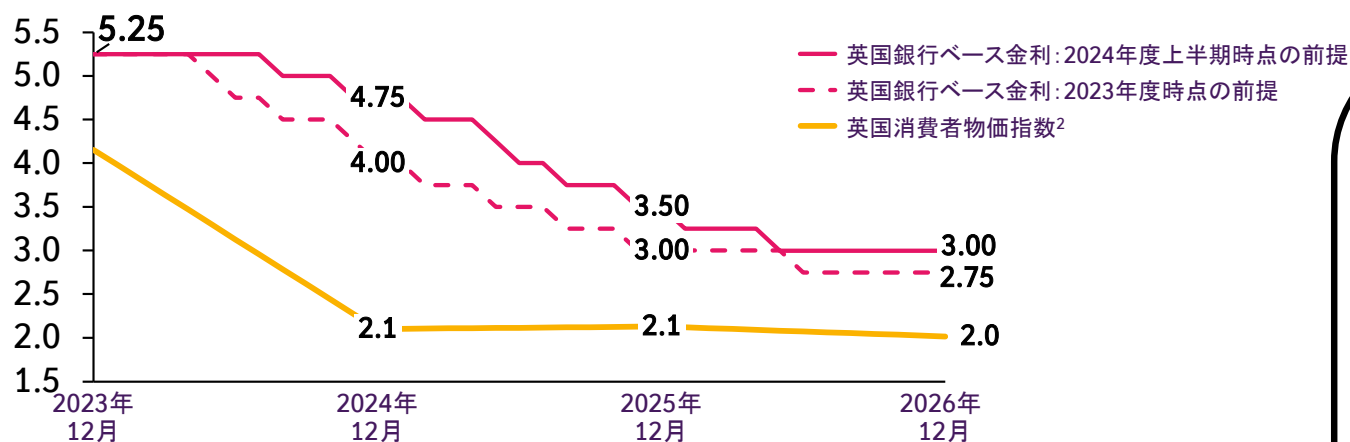
収益が支える力強いパフォーマンス

Group, £m	Q2'24	Q1'24	Q2'24 vs Q1'24	H1'24	H1'23	H1'24 vs H1'23
Net interest income, ex notable items ¹	2,757	2,651	4.0%	5,408	5,726	(5.6%)
Non-interest income, ex notable items ¹	833	763	9.2%	1,596	1,657	(3.7%)
Total income, ex notable items¹	3,590	3,414	5.2%	7,004	7,383	(5.1%)
Total income	3,659	3,475	5.3%	7,134	7,727	(7.7%)
Other operating expenses	(1,928)	(2,028)	(4.9%)	(3,956)	(3,807)	3.9%
<i>o.w. bank levies²</i>		(87)		(87)	(4)	
<i>o.w. retail share offer costs³</i>	(17)	(8)		(24)		
Litigation and conduct costs	(77)	(24)	220.8%	(101)	(108)	(6.5%)
Operating expenses	(2,005)	(2,052)	(2.3%)	(4,057)	(3,915)	3.6%
Operating profit before impairments	1,654	1,423	16.2%	3,077	3,812	(19.3%)
Impairment release/ (losses)	45	(93)	n.m.	(48)	(223)	(78.5%)
<i>Loan impairment rate</i>	<i>(5bps)</i>	<i>10bps</i>	<i>(15bps)</i>	<i>3bps</i>	<i>12bps</i>	<i>(9bps)</i>
Operating profit	1,699	1,330	27.7%	3,029	3,589	(15.6%)
Attributable profit	1,181	918	28.6%	2,099	2,299	(8.7%)
Return on Tangible Equity	18.5%	14.2%	4ppts	16.4%	18.2%	(2)ppts

英国マクロ経済見通し¹

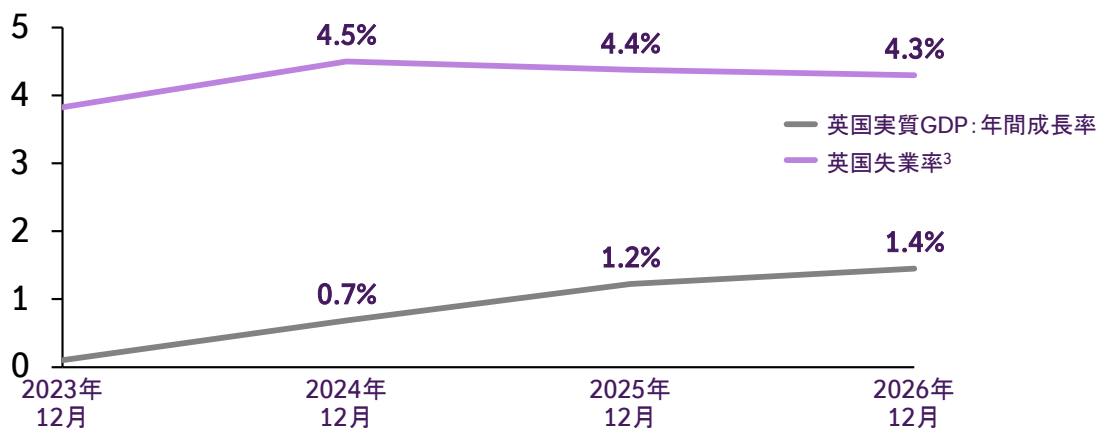
英国銀行ベース金利は**2024年度末に4.75%、2025年度末に3.5%**を想定

2024年度から2026年度の予想値はナットウエストグループが国際金融報告基準(IFRS)第9号に即し算出したベースシナリオ¹



英国GDPの拡大と失業率安定を引き続き想定

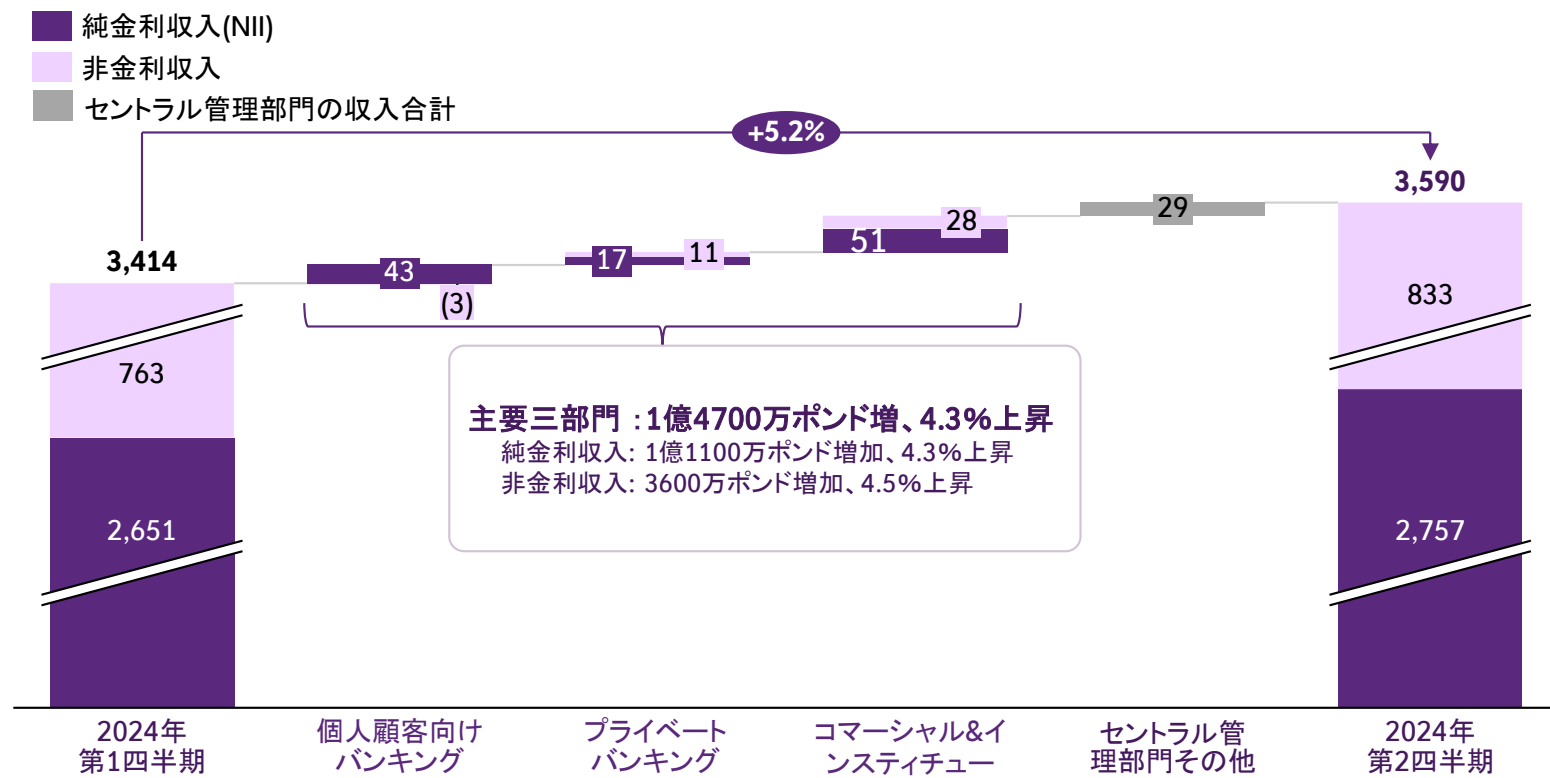
2024年度から2026年度の予想値はナットウエストグループが国際金融報告基準(IFRS)第9号に即し算出したベースシナリオ¹



- 当初予想より長引く金利水準の高止まり; 直近では2024年度内に2度の金利引き下げ、2025年度内に5度の引き下げが行われ、2025年度末に金利は3.5%まで低下すると予想
- インフレ率は英国銀行が目標値に据えた2%まで低下したが、同比率は概ねこの水準に留まり、その他のマクロ経済指標も概ね変化なしと予想
- 消費者および事業主の信頼感指数はここ2年来の最高値にあり⁴ 2026年度までのGDP拡大予想は上向き

2024年第2四半期の収入は5.2%上昇し36億ポンドへ、2024年度通期ガイダンスを上方修正

特記事項を除く収入, 100万ポンド

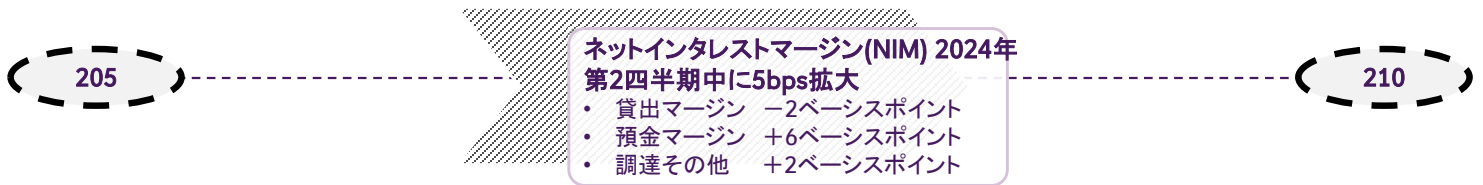


主要三部門 : 1億4700万ポンド増、4.3%上昇
 純金利収入: 1億1100万ポンド増加、4.3%上昇
 非金利収入: 3600万ポンド増加、4.5%上昇

ガイダンス上方修正

- 2024年度通期総収入²は140億ポンド程度に
- 英国銀行ベース金利は2024年度末時点で4.75%を想定

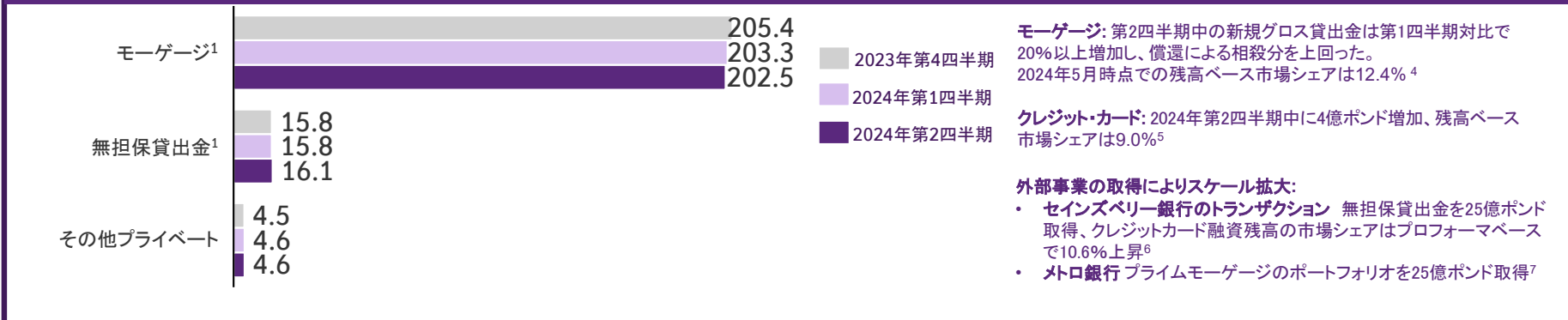
Net interest margin¹, bps



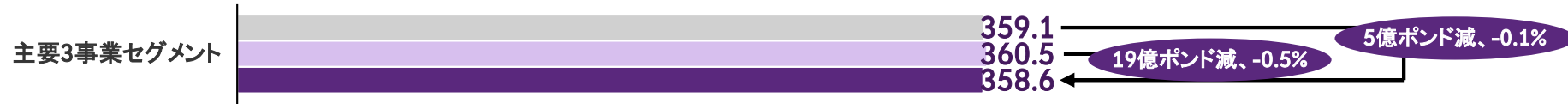
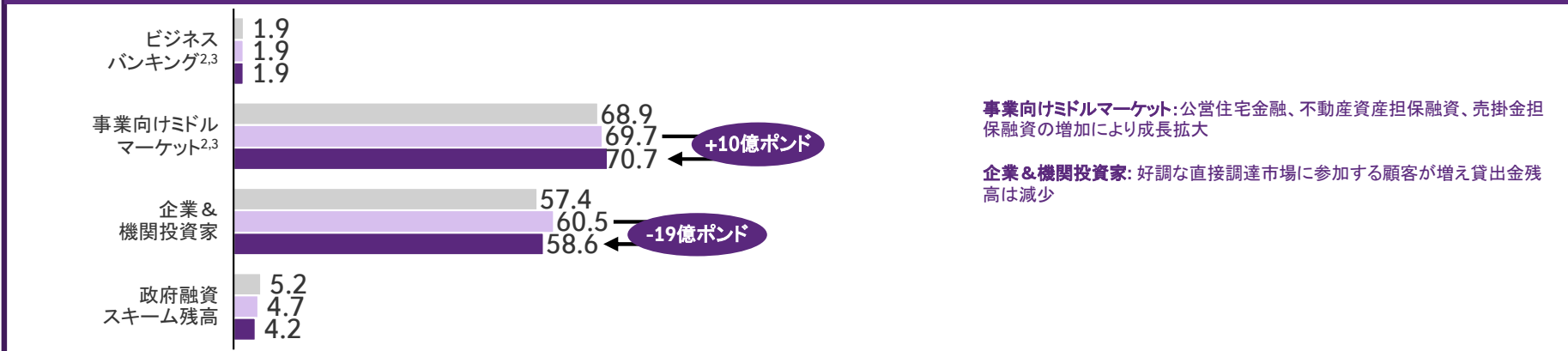
規律あるアプローチを通じてフォーカス事業で成長促進

グロス顧客向け貸出金(償却原価): 2024年第2四半期末、10億ポンド

個人向けバンキング部門&プライベートバンキング部門 2232億ポンド、前期比で5億ポンド減少、前年度末対比で25億ポンド減少

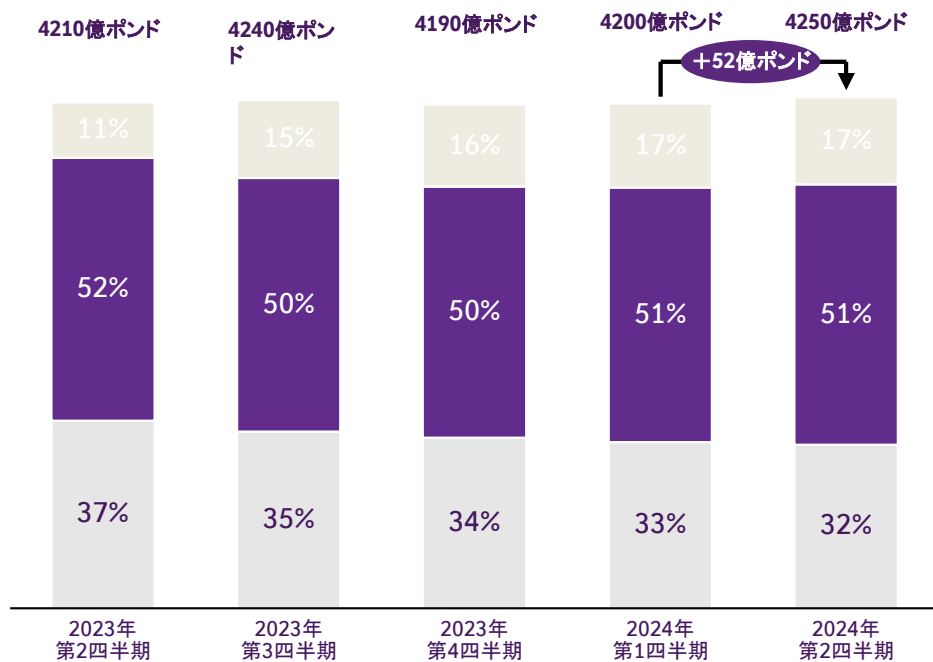


コマーシャル&インスティテューショナル部門 1354億ポンド、前期比で14億ポンド減少、前年度末対比で20億ポンド増加



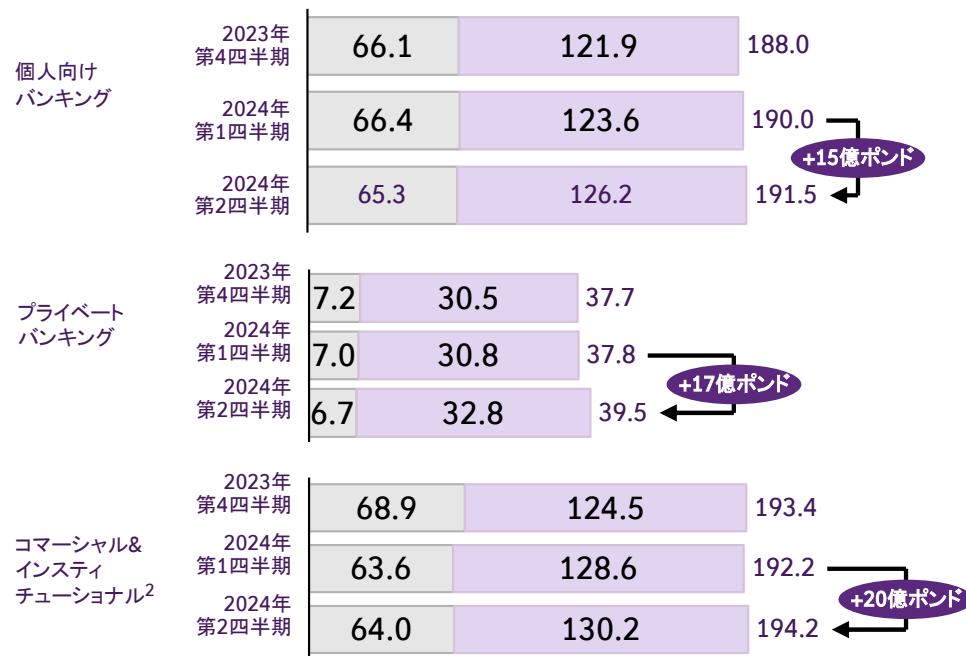
事業全体で52億ポンドの預金増、入金ペースは鈍化

主要事業3部門の金利タイプ別預金ミックス¹ %、10億ポンド



定期預金
 インスタントアクセス預金
 無利息型預金

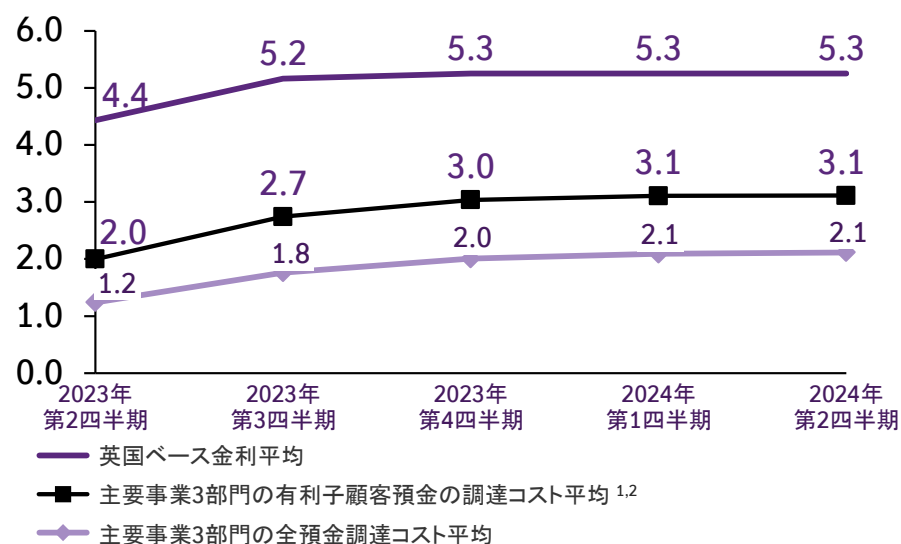
主要事業別顧客預金¹、10億ポンド



無利息型預金³
 有利子預金⁴

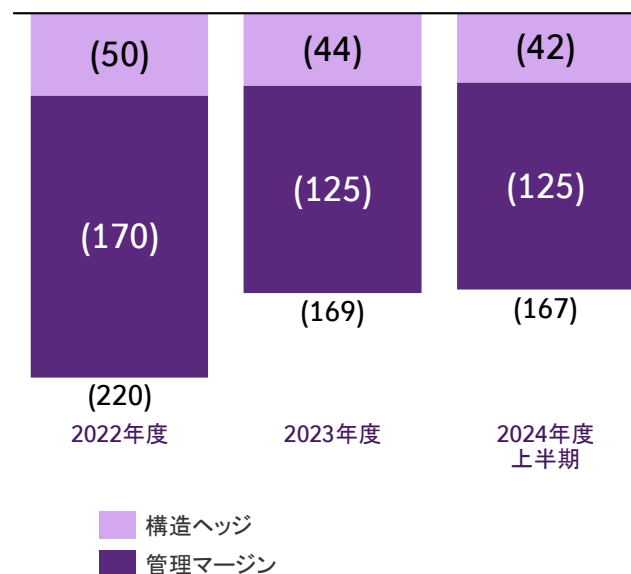
預金コストは安定化

サードパーティ顧客預金利率と英国ベース金利、%



当社の金利感応度

イールドカーブが25ベースポイント下方にシフトした場合を想定して推計した1年目収益への影響 (100万ポンド)



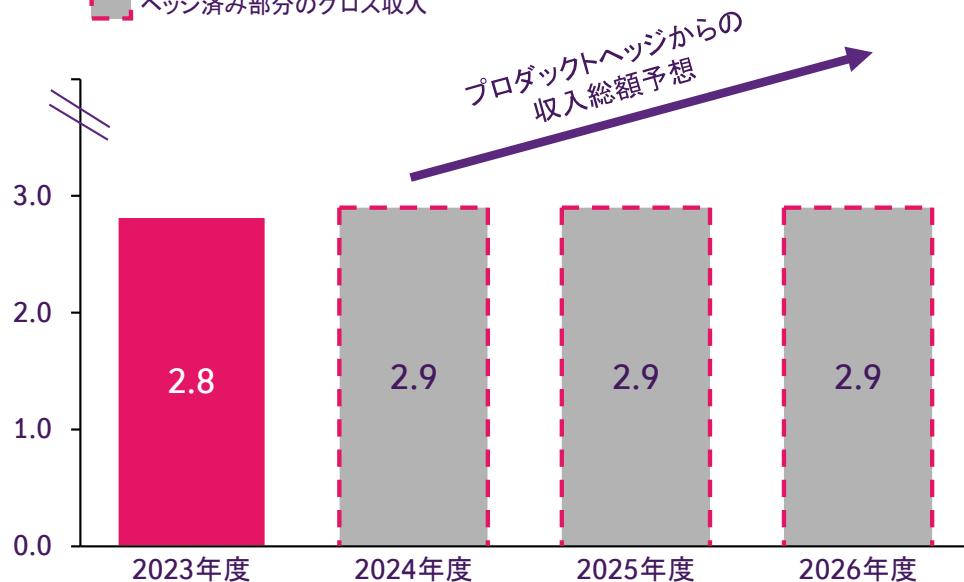
感応度推計に関する留意点

- 固定されたバランスシート - 感応度はバランスシート上の残高が期間中固定されていると前提を置いて推計。
- パススルー率 - 当推計では60%程度のパススルー率を想定しているが実際のパススルー率は市場の状況次第で変化する

構造ヘッジにより今後数年に渡り収益を確保

プロダクト構造ヘッジの見通し、10億ポンド

■ プロダクトヘッジのグロス収入
■ ヘッジ済み部分のグロス収入



- 2024年度分として予想されるプロダクトヘッジからの収入は90%以上がすでにヘッジ済み
- 年度内に償還を迎える残高は期末残高全体の5分の1。2024年度ではおよそ350億ポンドに相当する。³
- ヘッジ名目元本は引き続き2024年度末までに1700億ポンド程度まで圧縮を見込む。⁴

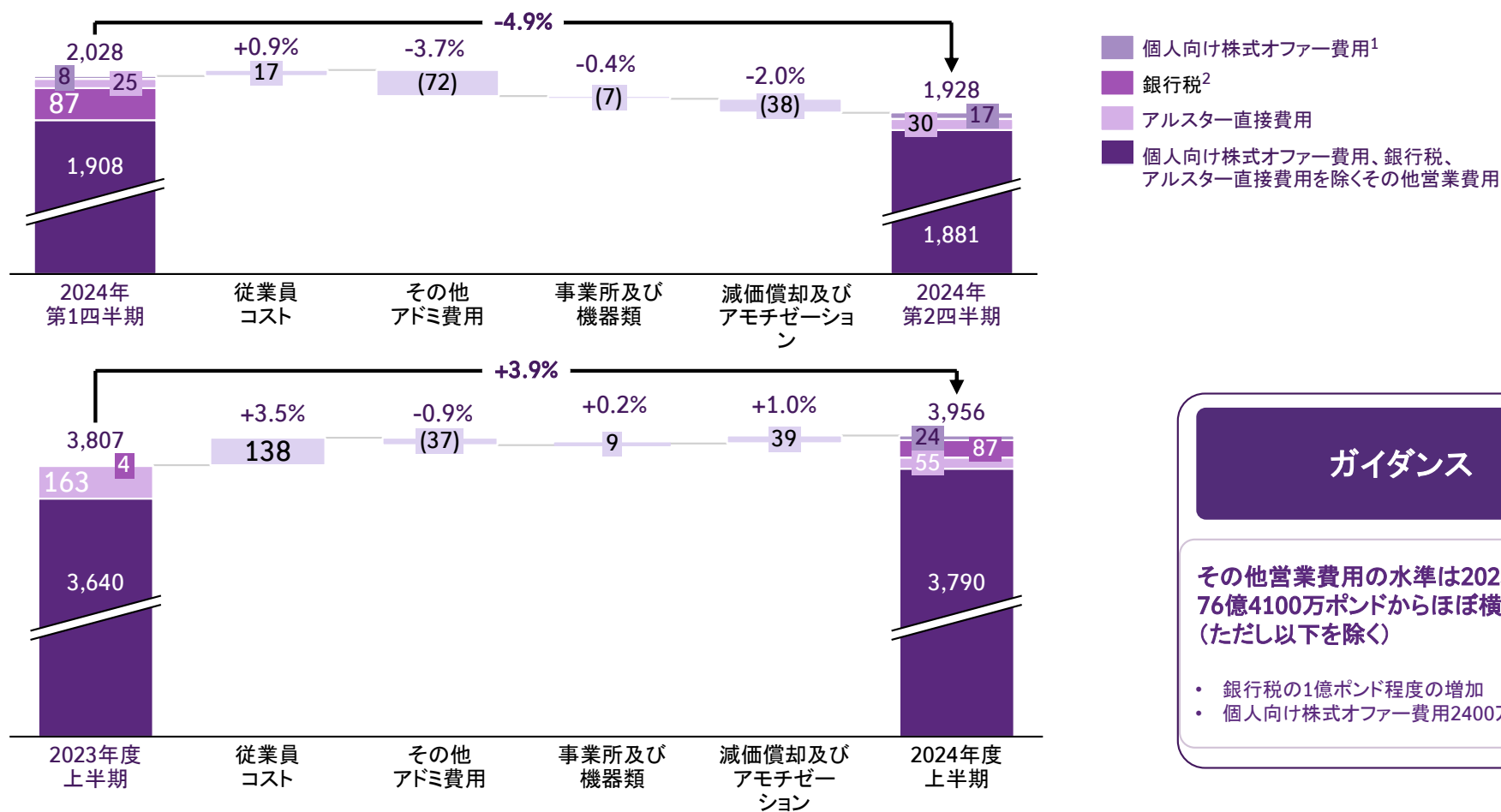
ヘッジ済み部分からの収益%*	90%以上	70%程度	50%程度
償還イールド平均 ¹	0.4%程度	0.0%程度	0.4%程度
再投資イールド ²	3.7%	3.1%	3.0%

Structural hedge	FY'23	H1'24
Period end notional	£207bn	£197bn
Product hedge notional	£185bn	£175bn
Yield - product hedge	1.42%	1.58%

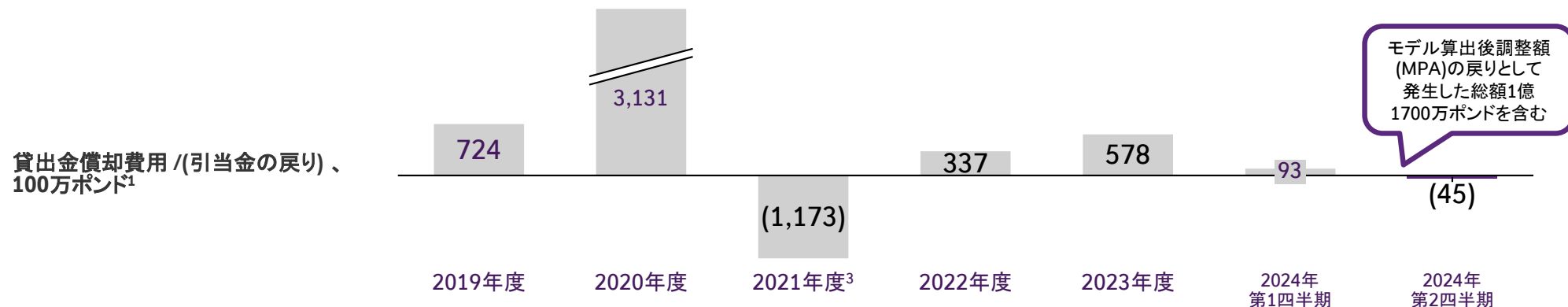
*平均期間2.5年で機械的に再投資すると想定

その他営業費用は事業計画通り

その他営業費用、100万ポンド



強固な資産内容、2024年度上半期の貸出金償却率は3ベースポイント



Loan impairment rate, bps^{1,2}

Retail Banking	25	45	(2)	11	22	12	12
Commercial & Institutional	27	156	(92)	9	7	11	(28)
Private Banking	(4)	58	(29)	(1)	8	(13)	(11)
Group	22	85	(32)	9	15	10	(5)
Stage 3 loan impairment rate	18	17	8	6	8	14	9

経済不確定要因に伴いバランスシート上に施されるモデル算出後調整額(PMA)、100万ポンド

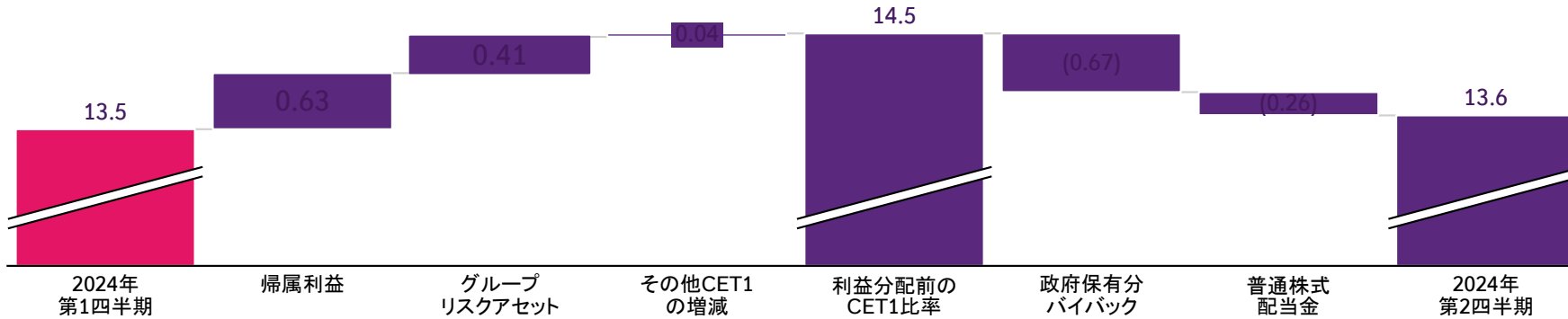


ガイダンス

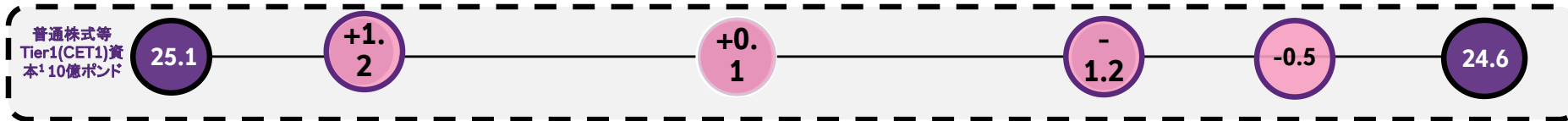
貸出金償却率は15ベースポイント以下で推移

政府保有分バイバック実行後の普通株式等Tier1(CET1)比率は13.6%

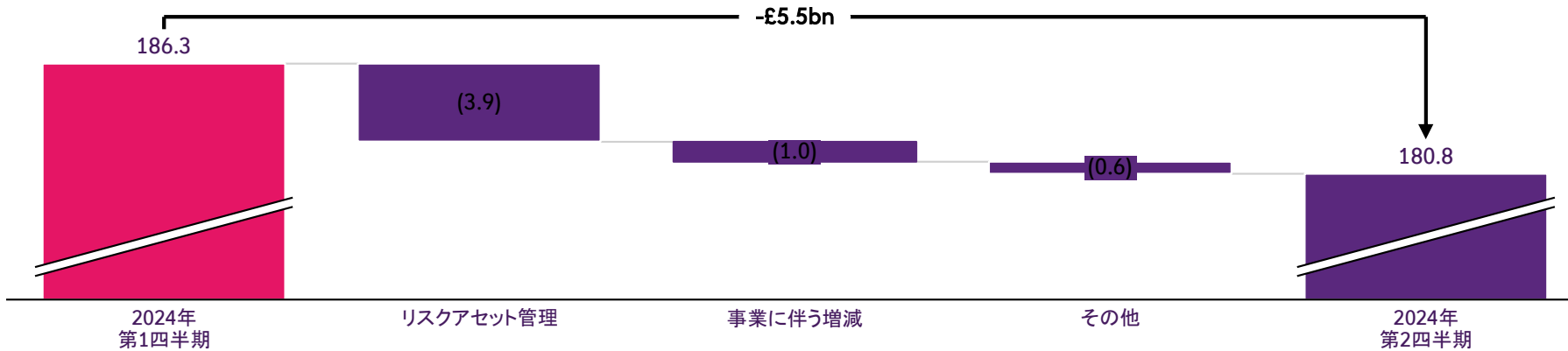
普通株式等Tier1(CET1) 比率、%



普通株式等 Tier1(CET1)比率の目標レンジは13-14%



リスクアセット (RWAs)、10億ポンド



2025年度末までにリスクアセット2000億ポンド程度を見込む²

2024年度ガイダンス上方修正¹

2024年度	前期までのガイダンス	上方修正されたガイダンス	2024年度上半期の進捗状況
総収入 ²	130億～135億ポンド	140億ポンド程度 ²	70億ポンド ²
その他営業費用	銀行税1億ポンド強を除き、2023年度対比でほぼ横ばい	銀行税1億ポンド強&個人向け株式オファー費用2400万ポンドを除き、2023年度対比でほぼ横ばい	40億ポンド
貸出金償却率	20ベースポイント以下	15ベースポイント以下	3ベースポイント
有形株主資本利益率 (ROTE)	12%程度	14%以上	16.4%



質疑応答



NatWest
Group



補足資料



NatWest
Group

事業の見通し¹

見通し:

経済見通しの整合性を引き続き検討、市場動向を見据えながら対応し、経済状況の変化に合わせて当社の業績予想を内部で細かく調整してゆく。以下に述べる見通しは、当社が現在想定している金利と経済状況に基づいて算出した。

2024年度予想:

- 有形資本利益率(RoTE)は14%以上達成へ。
- 特記事項を除く収入は140億ポンド前後に。
- グループ全体の営業費用は、問題行為・訴訟関連費用を除いたベースで、2023年度の水準からおおよそ横ばいに。ただし、これらとは別に銀行税で1億ポンドの増加を予想。加えて、英国財務省は保有する当社株の個人投資家への売り出しを考慮しており、関連費用として2400万ポンドが別途発生する可能性。
- 2024年度の貸出金償却率は15%を下回ると予想。

2026年度予想:

- グループ全体の有形資本利益率(RoTE)で13%以上を達成。

自己資本一引き続き以下を実行予定:

- 普通株式等Tier1(CET1)比率の目標値は13-14%のレンジ。
- リスクアセットは、バーゼル3.1の影響を織り込み、2025年度末に2000億ポンド程度になると予想。ただし最終の規制ルールと当局の承認次第で数値が変わる可能性あり。
- 普通株式配当金の配当性向は帰属利益の40%前後、英国政府が保有する株式バイバックのための余力を保持する。政府保有株のバイバックは英国財務省の認可が前提になる点に注意。自社株の市中バイバックについても適切な範囲で考慮する。

特記事項

	Q2'23	Q3'23	Q4'23	FY'23	Q1'24	Q2'24
Group income	3,851	3,488	3,537	14,752	3,475	3,659
Notable items in Income, £m	Q2'23	Q3'23	Q4'23	FY'23	Q1'24	Q2'24
<i>Commercial and Institutional</i>						
Own credit adjustments (OCA)	3	(6)	(5)	(2)	(5)	(2)
Tax interest on prior periods (net interest income)	--	--	3	3	--	--
<i>Central items & other</i>						
Interest and FX risk management derivatives not in accounting hedge relationships	(23)	48	(21)	79	59	67
Loss on redemption of own debt	--	--		--		--
Liquidity Asset Bond sale losses	(11)	(9)	(10)	(43)	--	--
Share of associate profits/(losses) for Business Growth Fund	(3)	10	1	(4)	7	4
Property restructuring	--	(69)	--	(69)	--	--
FX recycling gains	322	--	162	484	--	--
Tax interest on prior periods (net interest income)	--	--	(35)	(35)	--	--
Total notable items in Group income	288	(26)	95	413	61	69
Total income excluding notable items	3,563	3,514	3,442	14,339	3,414	3,590

部門別サマリー1

Group Q2'24, £bn	Retail Banking	Private Banking	Commercial & Institutional	Central items & other	Group
Net interest income	1.3	0.2	1.3	0.1	2.8
Non-interest income	0.1	0.1	0.6	0.1	0.9
Total income	1.4	0.2	1.9	0.1	3.7
<i>Income ex-notable items</i>	<i>1.4</i>	<i>0.2</i>	<i>1.9</i>	<i>0.0</i>	<i>3.6</i>
Other operating expenses	(0.7)	(0.2)	(1.1)	(0.0)	(1.9)
Litigation and conduct	(0.0)	--	(0.0)	(0.0)	(0.1)
Operating expenses	(0.7)	(0.2)	(1.1)	(0.0)	(2.0)
Operating profit/(loss) before impairment releases/(losses)	0.7	0.1	0.8	0.1	1.7
Impairment releases/(losses)	(0.1)	0.0	0.1	0.0	0.0
Operating profit/(loss)	0.6	0.1	0.9	0.1	1.7

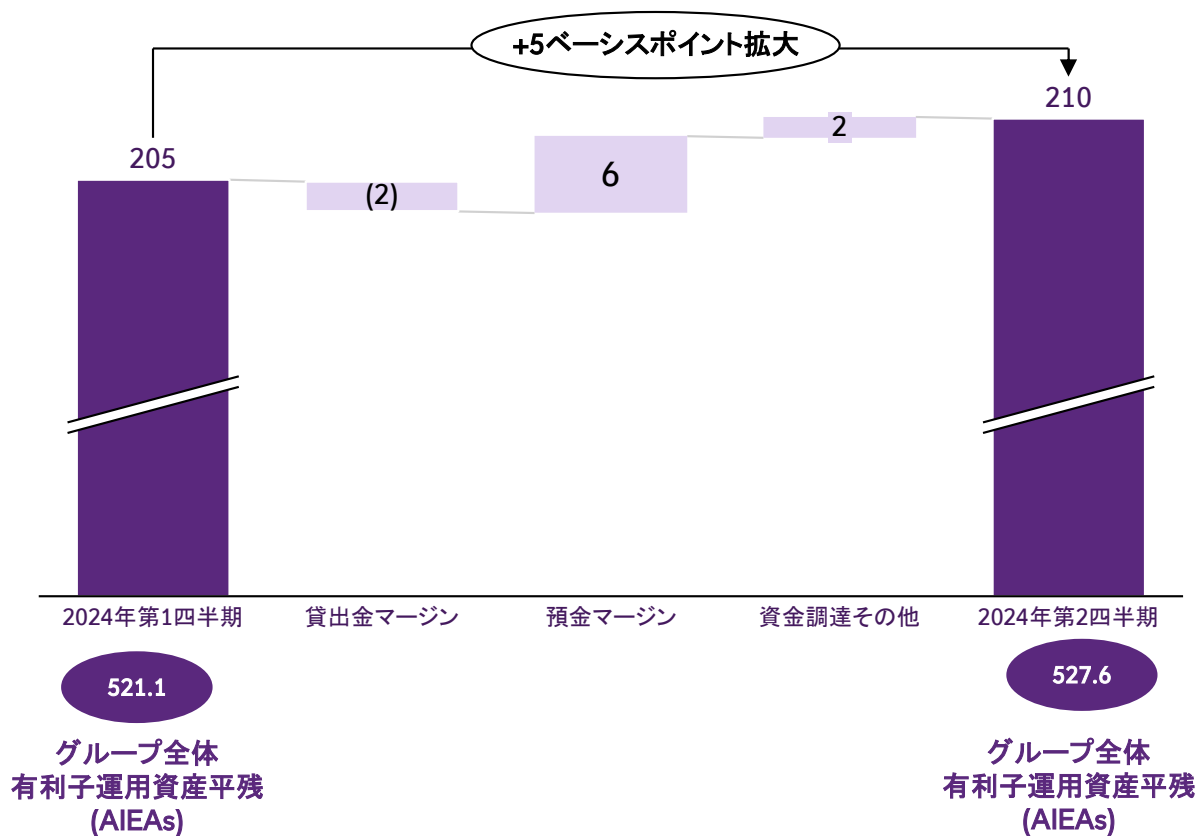
£bn					
Net loans to customers - amortised cost	203.3	18.1	133.9	24.0	379.3
Customer Deposits	191.5	39.5	194.2	7.8	433.0
RWAs	62.3	11.0	104.9	2.6	180.8
Return on equity / tangible equity	20.3%	14.4%	17.8%	nm	18.5%
Cost:income ratio	50.5%	74.2%	54.3%	nm	52.7%

有形ネット資産価値(TNAV)

	GBP, m	Share count, m	Pence
As at 31 March 2024	26,360	8,727	302
Final ordinary dividend (paid 31 May 2024)	(1,008)		(11)
On-market share buyback	(181)	(60)	0
Directed buyback (executed on 31 May 2024)	(1,241)	(392)	(1)
Attributable profit	1,181		14
Cash flow hedge reserve (net of tax)	132		2
Other movements	(2)	32	(1)
Net change	(1,119)	(420)	2
As at 30 June 2024	25,241	8,307	304

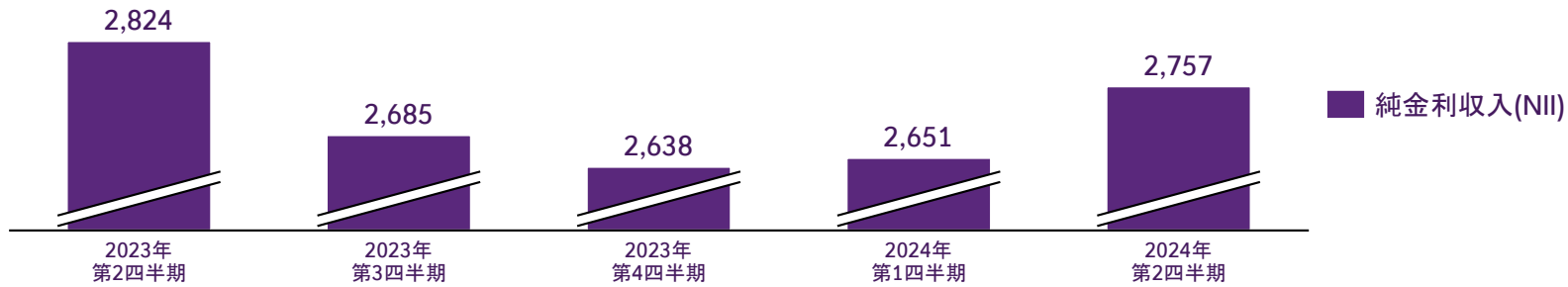
2024年第2四半期中の純金利マージン(NIM)の動き

純金利マージン¹ (NIM) ベーシスポイント
有利子運用資産平残 (AIEA's)、10億ポンド

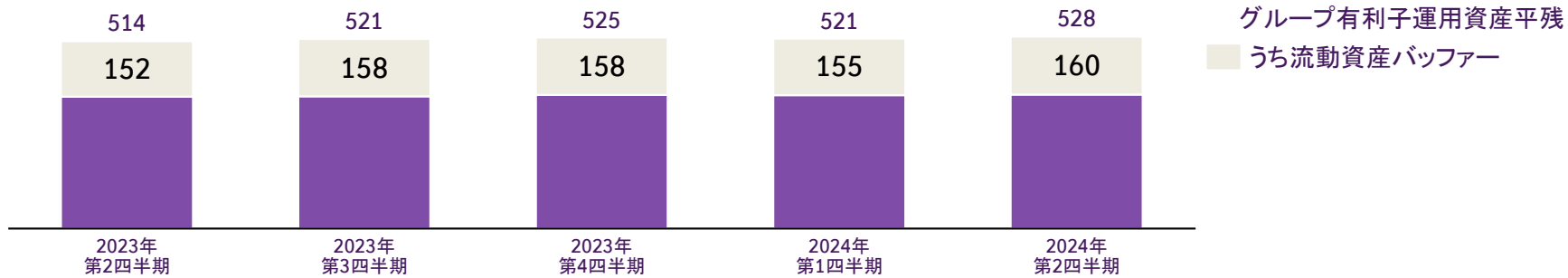


純金利収入(NII)、マージン、有利子運用資産平残(AIEAs)の推移

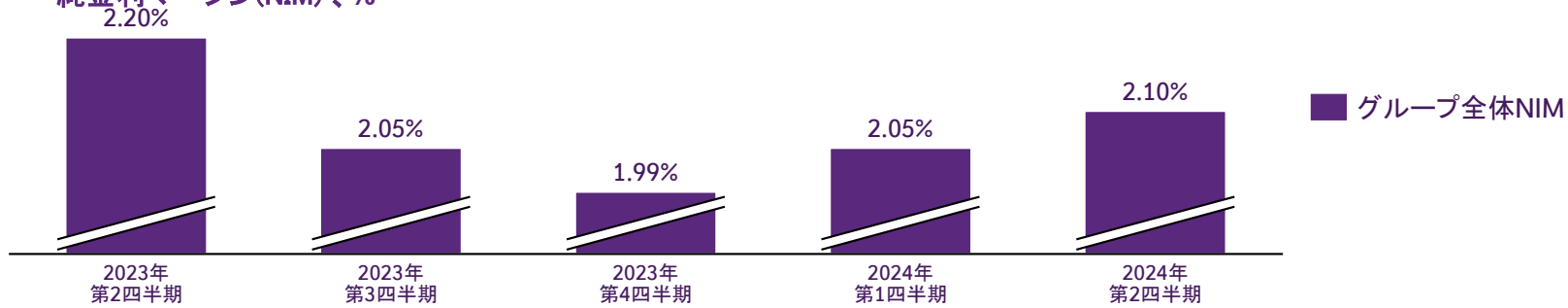
純金利収入、100万ポンド



有利子運用資産平残、10億ポンド

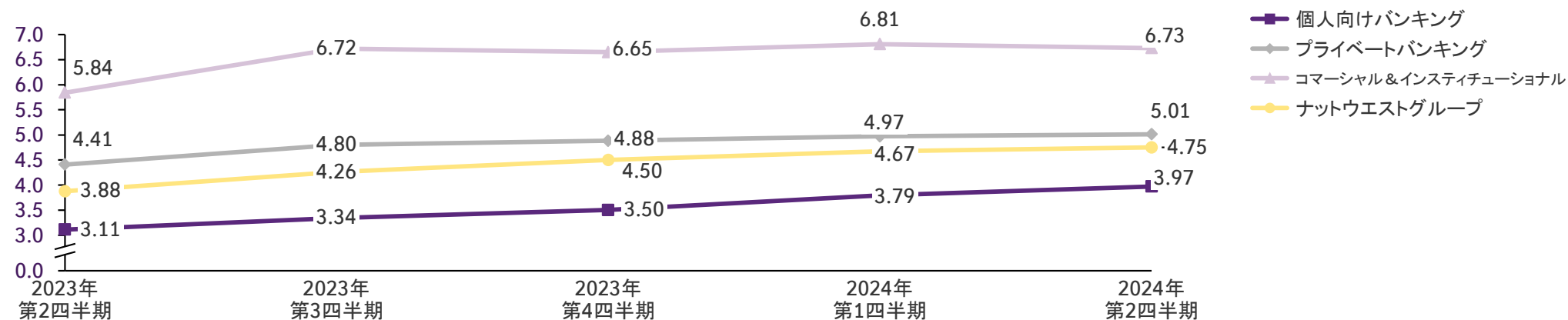


純金利マージン(NIM)、%

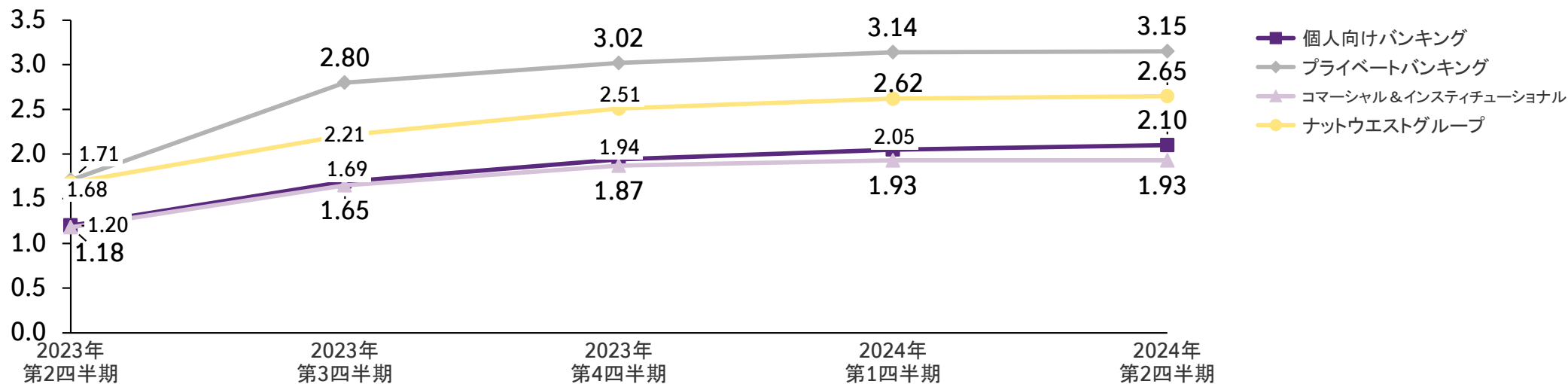


金利上昇が貸出金利と預金金利をともに押し上げ

有利子銀行運用資産のグロスイールド, %¹



有利子負債および無利子負債の調達コスト, %²



構造ヘッジ1

	H1 2024			
	Total income	Period end notional	Average notional	Total yield
	(£m)	(£bn)	(£bn)	%
Equity	218	22	22	1.95
Product	1,392	175	176	1.58
Total	1,610	197	198	1.62

	FY 2023			
	Total income	Period end notional	Average notional	Total yield
	(£m)	(£bn)	(£bn)	%
Equity	418	22	22	1.87
Product	2,822	185	199	1.42
Total	3,240	207	221	1.47

	H1 2023			
	Total income	Period end notional	Average Notional	Total Yield
	(£m)	(£bn)	(£bn)	%
Equity	204	23	22	1.83
Product	1,362	202	205	1.33
Total	1,566	225	227	1.38

金利感応度¹

2024年6月30日時点のバランスシート上の残高に変更なしと前提を置き算出

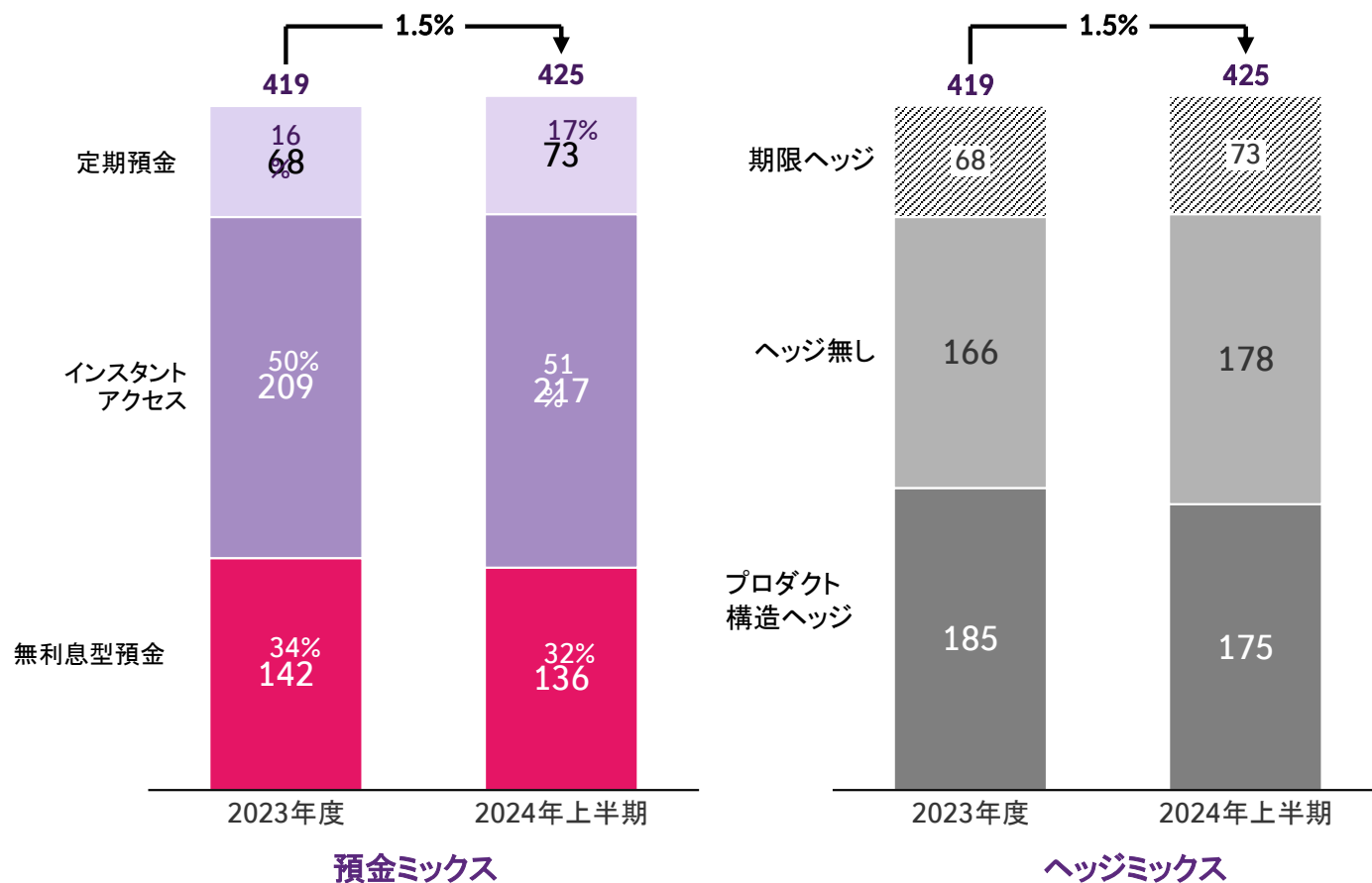
H1 2024	+25 basis points parallel upward shift			-25 basis points parallel downward shift		
	Year 1 (£m)	Year 2 (£m)	Year 3 (£m)	Year 1 (£m)	Year 2 (£m)	Year 3 (£m)
Structural Hedge	42	129	216	(42)	(129)	(216)
Managed Margin	93	97	110	(125)	(107)	(110)
Total	135	226	326	(167)	(236)	(326)

FY 2023	+25 basis points parallel upward shift			-25 basis points parallel downward shift		
	Year 1 (£m)	Year 2 (£m)	Year 3 (£m)	Year 1 (£m)	Year 2 (£m)	Year 3 (£m)
Structural Hedge	44	138	227	(44)	(138)	(227)
Managed Margin	120	117	114	(125)	(121)	(105)
Total	164	255	341	(169)	(259)	(332)

H1 2023	+25 basis points parallel upward shift			-25 basis points parallel downward shift		
	Year 1 (£m)	Year 2 (£m)	Year 3 (£m)	Year 1 (£m)	Year 2 (£m)	Year 3 (£m)
Structural Hedge	49	151	249	(49)	(151)	(248)
Managed Margin	86	76	157	(121)	(75)	(168)
Total	135	227	406	(170)	(226)	(416)

預金収入の増加要因

金利条件およびヘッジタイプによる預金ミックス¹、10億ポンド



2024年度: 前年度対比で預金収入の増減要因

顧客および市場の状況次第で変化

定期預金からの収入: 穏やかな増加

- 残高: より穏やかなペースで増加へ
- マージン: おおむね横ばい

無ヘッジ預金からの収入: 幾分減少

- 残高: 預金ミックス次第
- マージン: ベース金利低下後に縮小へ

プロダクトヘッジからの収入: 穏やかな増加

- 残高: ヘッジ対象の預金残高低下に伴い減少
- マージン: 再投資金利の上昇に伴い拡大へ

英国経済予測の前提条件¹

前提条件およびウェイトは2024年上半期中に改訂済み

Scenario	H1'24					Q1'24 and FY'23					H1'23				
	Upside	Base Case	Downside	Extreme downside	Weighted average	Upside	Base Case	Downside	Extreme downside	Weighted average	Upside	Base Case	Downside	Extreme downside	Weighted average
Weighting	22%	45%	19%	14%	Weighted average	21%	45%	20%	13%	Weighted average	19%	45%	21%	16%	Weighted average
UK GDP – Annual Growth (%)															
2024	1.7	0.7	0.1	(0.0)	0.7	3.6	0.4	(1.1)	(2.7)	0.3	3.8	0.8	(1.4)	(4.1)	0.3
2025	3.9	1.2	(0.9)	(4.0)	0.7	2.3	1.3	0.4	(1.6)	1.0	1.4	1.0	1.0	0.9	1.1
5 year - CAGR ²	1.9	1.2	0.6	(0.2)	1.1	1.8	1.0	0.5	(0.3)	0.9	1.8	0.9	0.4	(0.2)	0.8
UK Unemployment rate – annual average (%)															
2024	4.2	4.4	4.6	4.8	4.4	3.9	4.7	5.2	6.2	4.8	3.3	4.2	5.1	7.3	4.7
2025	3.4	4.4	5.7	7.8	4.9	3.2	4.7	5.8	8.4	5.1	3.3	4.4	5.3	7.7	4.8
5 year average ²	3.5	4.3	5.4	7.1	4.7	3.5	4.6	5.2	6.8	4.8	3.5	4.2	4.9	6.6	4.6
UK House Price Index – four quarter growth (%)															
2024	6.8	3.1	(1.2)	(3.3)	2.2	7.2	(5.0)	(7.1)	(11.5)	(3.7)	10.4	(1.0)	(13.2)	(14.1)	(3.1)
2025	8.9	3.1	(6.0)	(13.2)	0.6	9.4	3.1	(3.1)	(14.2)	1.2	6.1	2.9	0.9	(16.4)	0.9
5 year - CAGR ²	5.3	3.3	1.0	(4.2)	2.5	3.9	0.3	(0.4)	(5.7)	0.3	3.8	0.3	(0.8)	(6.0)	0.0
UK Commercial Real Estate Price – four quarter growth (%)															
2024	6.2	(1.3)	(4.2)	(7.7)	(1.1)	12.7	0.0	(7.3)	(18.4)	(1.2)	5.5	0.5	(13.4)	(35.3)	(6.1)
2025	5.5	1.7	(8.0)	(30.8)	(3.4)	3.5	2.7	(2.0)	(20.0)	(0.5)	4.6	2.5	2.5	2.5	3.0
5 year - CAGR ²	4.4	1.2	(0.7)	(5.1)	0.8	3.1	(0.2)	(2.0)	(6.8)	(0.6)	3.3	0.2	(2.7)	(7.6)	(0.7)
Consumer price index - four quarter growth (%)															
2024	1.4	2.1	5.7	0.1	2.4	0.9	2.5	8.5	(1.2)	2.9	1.1	2.3	4.3	6.8	3.2
2025	0.5	2.1	6.7	0.5	2.5	0.7	2.0	5.3	1.7	2.4	1.8	1.9	3.9	1.7	2.3
5 year - CAGR ²	1.1	2.1	4.8	1.3	2.3	1.7	2.6	5.2	1.8	2.8	1.7	2.3	4.2	3.7	2.8

部門別 貸出金償却費用 / (引当金の戻り)

	Retail Banking	Private Banking	Commercial & Institutional	Central items & other	Group
H1'24 (£m)	122	(11)	(57)	(6)	48
H1'24 (bps)	12bps	(12)bps	(8)bps	nm	3bps
H1'23 (£m)	193	11	20	(1)	223
H1'23 (bps)	19bps	11bps	3bps	nm	12bps

Q2'24 (£m)	59	(5)	(96)	(3)	(45)
Q2'24 (bps)	12bps	(11)bps	(28)bps	nm	(5)bps
Q1'24 (£m)	63	(6)	39	(3)	93
Q1'24 (bps)	12bps	(13)bps	11bps	nm	10bps
Q4'23 (£m)	103	5	15	3	126
Q4'23 (bps)	20bps	11bps	4bps	nm	13bps
Q2'23 (£m)	79	3	64	7	153
Q2'23 (bps)	15bps	6bps	20bps	nm	16bps

高度に分散が効いたクオリティの高い融資ブック

延滞状況は横ばいで依然低水準

個人向け貸出金: 2214億ポンド、グループ全体の融資の57%

ホールセール貸出金: 1675億ポンド、グループ全体の融資の43%

グループ全体のモーゲージ融資 2055億ポンド

モーゲージ融資のLTVは57%¹ 前年度から横ばい安定

返済期限別内訳: 5年 64%, 2年 26%, 10年 1%, トラッカー6%², 標準変動金利物(SVR) 3%

固定金利貸出金ブックの9%に相当する170億ポンドが2024年に返済期限終了³

延滞状況は低水準を維持、2019年のレベルを下回る

クレジットカードその他無担保貸出金160億ポンド

グループ全体の貸出金総額の4%

ポートフォリオのデフォルト率は依然低水準

延滞債権に分類対象の新規分は安定的かつ低水準を維持

2024年第2四半期中に債権売却を実行しステージ3に分類される貸出金残高が2億ポンド減少して10億ポンドに

企業向け貸出金 766億ポンド

分散が効き数多くのセクターに幅広くエクスポージャーを持つ企業融資ブック

デフォルト率は従来からの通常レベルを依然下回る水準

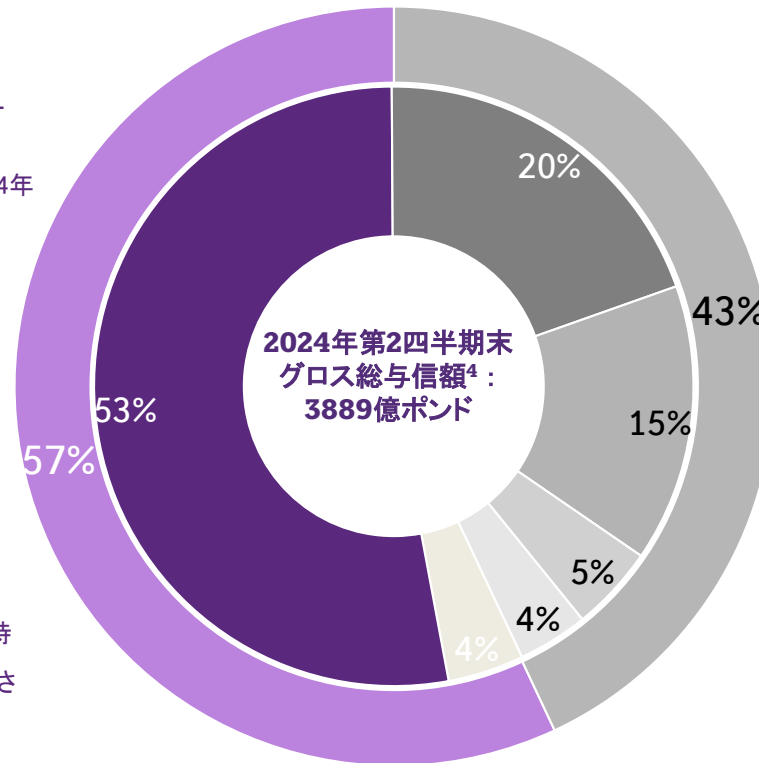
商業用不動産 (CRE)、179億ポンド

グループ全体の貸出金総額の5%

LTVは48%¹

小売り商業施設およびオフィススペースへのエクスポージャーは英国一帯に地理的分散が効いており、引き続き厳しく管理。

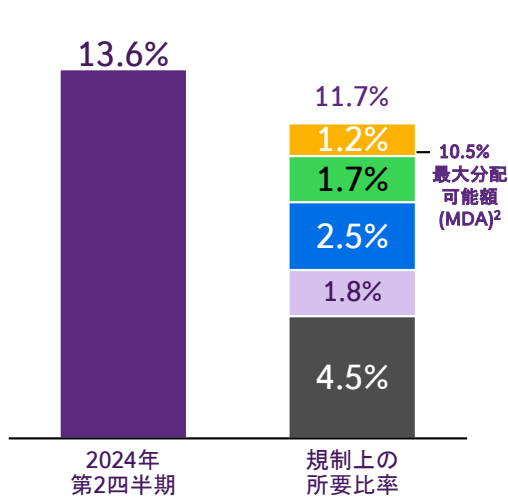
極一部の特殊なケースで劣化が認められた部分を除けば、信用クオリティは安定的に推移。



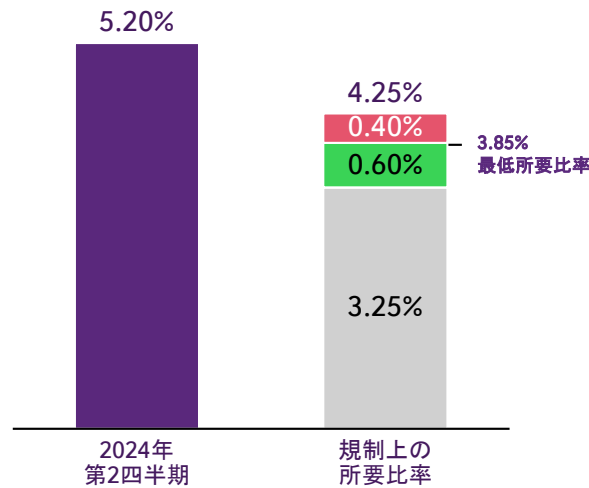
- 商業用を除く不動産
- モーゲージ
- ソブリン及び金融機関向け
- クレジットカードその他
- 企業向け
- 商業用不動産

強固な自己資本と流動性ポジションに裏打ちされた信頼と柔軟性

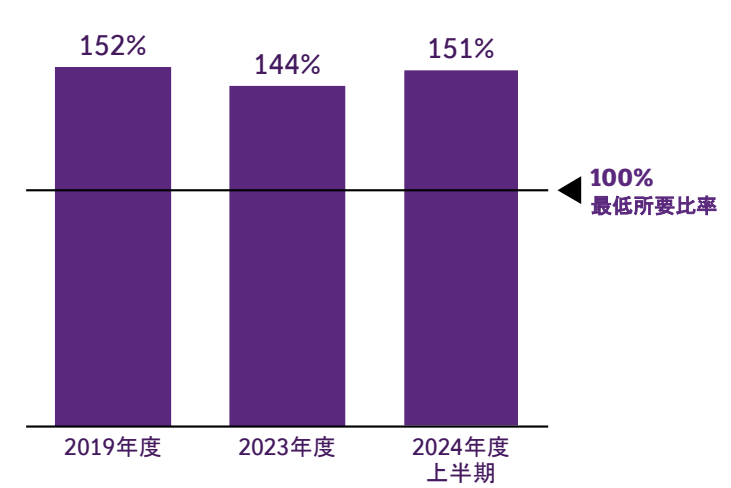
普通株式等Tier1(CET1)キャピタル
(リスクアセットに対する割合、%)^{1,2}



英国レバレッジ比率
(レバレッジエクスポージャーに対するTier1資本の割合、%)



流動性カバレッジ比率(LCR)
—2024年第2四半期末時点で545億ポンドの余剰あり



- その他システム上重要な金融機関(O-SII)グループリスク追加資本³
- カウンターシクリカルバッファ⁴
- 資本保全バッファ
- 第2の柱A⁵
- 第1の柱

- その他システム上重要な金融機関(O-SII)グループリスク追加資本³
- カウンターシクリカル・レバレッジ比率バッファ⁶
- 規制上のTier1資本最低所要比率

脚注

Slide 3: 1. 22ページに詳述した特記事項を除く。2. 不正行為・訴訟関連費用を除く費用。3. 顧客預金残高がネット貸出金残高を720億ポンド程度超過したため、預貸率(LDR) (レボ及びレバースレボを除く)は2024年第2四半期時点で83%になった。4. 規制上の最低所要レベルを上回る余剰額は545億ポンド。5. 17億ポンドの内訳は、5月に実行した政府保有株式バイバック12億ポンドと2024年度上半期に公示された中間配当金5億ポンド。

Slide 4: 1. 17億ポンドの内訳は、5月に実行した政府保有株式バイバック12億ポンドと2024年度上半期に公示された中間配当金5億ポンド。

Slide 5: 1. ナットウエストグループ全体でネットで増加した新規顧客数は2023年度末から2024年度上半期末までの期間中の増加。2. 事業向けミドルマーケットの顧客へのグロス貸出金は政府による貸出金スキーム分を除く。3.個人向けバンキングとプライベートバンキングのクレジットカード事業における残高ベースの市場シェアは、英国銀行が公表した2023年12月時点と2024年5月時点のデータ(季節調整なし)に基づき、英国ポンド建てクレジットカードの個人向けネット貸出金(単位100万ポンド)の市場総額に対する割合として算出。4. 当該トランザクションを完了するには競合・市場庁(CMA)から承認を得る必要がある。

Slide 6: 1. 本プレゼンテーションで述べられるガイダンス、目標、期待、傾向は、ナットウエストグループの経営陣による現時点における期待を示しており、今後変更される可能性があります。変更には、ナットウエストグループplcの2023年度アニュアルレポートとフォーム20-Fおよびナットウエスト・マーケットズPlcの2023年度アニュアルレポート上の「リスク要因」、ナットウエストグループの2024年度上半期中間報告書とナットウエスト・マーケットズPlcの2024年度上半期中間報告書上の「リスク要因サマリー」に記載された諸要因から生じる変化が含まれます。これらは「将来予想に関する記述」に該当する。2. 特記事項を除く総収入。3. 銀行税1億ポンド強と英国財務省による個人投資家向け売り出し関連のコスト2400万ポンドを除けば、ほぼ横ばい。

Slide 8: 1. 22ページに詳述した特記事項を除く。2. 歳入・関税庁の銀行税と英国銀行の銀行税。3. 四捨五入の影響で合計は2400万ポンドから差異が生じる。

Slide 9: 1. 2024年度から2026年度の予測値はナットウエストグループが国際金融報告基準(IFRS)9号に即し算出したベースシナリオ。算出に用いられた経済予測の前提条件は上半期中間報告書18ページから21ページを参照。2. 四半期の変化。3. 各期末時点の金利。4. 英国消費者信頼感指数およびICAEWビジネス信頼度レビューより。

Slide 10: 1. 純金利マージン(NIM)=グループ全体の純金利収入(NII)公表数値/グループ全体の有利子運用資産平残。2. 特記事項を除く総収入。

Slide 11: 1. 個人向けバンキングおよびプライベートバンキング。2. コマーシャル&インスティチュショナル部門の全てのサブ部門の数値は政府による貸出金スキームを除く。3. 四捨五入の影響で合計に差異が生じる場合がある。4. 個人向けバンキングとプライベートバンキングのモーゲージにおける残高ベースの市場シェアは、英国銀行が2024年5月時点で公表した2023年12月時点と2024年5月時点のデータ(季節調整なし)に基づき、英国ポンド建ての個人向け担保付貸出金の(単位100万ポンド)の月次市場総額に対する割合として算出。5. 個人向けバンキングとプライベートバンキングのクレジットカード管理事業における残高ベースの市場シェアは、英国銀行が公表した2024年5月時点のデータ(季節調整なし)に基づき、英国ポンド建てクレジットカード個人向けネット貸出金(単位100万ポンド)の市場総額に対する割合として推計。6.公表されているバランスシートと各項目の予想価値は2025年3月31日を以て最終決定される予定。資産取得条件として、グロス顧客資産と負債および不随する現金は最終決定時にナットウエストグループに移管され、対価条項で合意済みの1億2500万ポンドがセインズベリー銀行からナットウエストグループへの支払いとして計上される。本件はセインズベリー銀行から提出された管理情報に基づき予想価値を算出している。取得予定のグロス顧客資産や残高および顧客アカウントは最終決定時に数値が予想値と異なる可能性があるため、最終的な取得資産の対価が最終価値として当社に移管されるが、状況に応じた調整が施される可能性がある。7. 本件は歳入・関税庁から承認を得た上で譲渡完了となる。

Slide 12: 1. 四捨五入の影響で合計に差異が生じる場合がある。2. コマーシャル&インスティチュショナル部門における無利息型および有利子預金の割合は主要三部門の合計値および個人向けバンキングとプライベートバンキング部門のディスクロージャーに基づいて推計。3. 個人向けバンキングとプライベートバンキングの無利息型預金は当座預金。4. 個人向けバンキングとプライベートバンキングの有利子預金は貯蓄預金。

Slide 13: 1. 個人向けバンキングとプライベートバンキングの有利子預金は貯蓄預金。2. 2023年第1四半期と2023年第4四半期の数値は算出方法の改訂に従い再計算された。

Slide 14: 1. 償還イールド平均は当該年度ごとの平均イールド。名目上の残高とデュレーション維持目的で用いるより短期のスワップが作用し合ってイールドに変化が生じる。2. ナットウエストグループの国際金融報告基準(IFRS)9号に基づくベースシナリオに用いられる5年平均スワップ金利の2024年から2026年にかけての予想値。3.再投資額は顧客預金ミックスおよび流出入の度合いにより変化する。4. 2024年上半期時点から預金残高とミックスに変更なしと前提を置いている。

Slide 15: 1. 四捨五入の影響で合計は2400万ポンドから差異が生じる。2. 歳入・関税庁の銀行税と英国銀行の銀行税。

Slide 16: 1. 本チャートで表示された数値はアルスター継続事業を含んだベースのグループ数値。2. 貸出金償却率は償却額の通年換算値をグロス顧客融資で割った数値。四半期貸出金償却率は年率換算されている。3. 2021年度の数値は2022年度業績の追加資料から。4. 2019年度の経済不確定要因に伴うモデル算出後調整額(PMA)は2020年度アニュアルレポートの170ページに詳述。2020年度分も同基準を用いて数値を算出公表している。4. 2024年第1四半期と同年第2四半期のステージ3の償却額は通年換算して四半期の計算に用いている。通年の数値は一年間のステージ3の償却額を用いる。

Slide 17: 1. 四捨五入の影響で合計に差異が生じる場合がある。2. ガイダンスにはバーゼル3.1の影響を織り込んでいるが、最終の規制ルールと当局の承認次第で数値が変わる場合がある。

Slide 18: 1. 本ページには将来予想に関する記述が含まれる。本プレゼンテーションの36ページを参照。2.特記事項を除いた総収入。

Slide 21: 本プレゼンテーションで述べられるガイダンス、目標、期待、傾向は、ナットウエストグループの経営陣による現時点における期待を示しており、今後変更される可能性があります。変更には、ナットウエストグループplcの2023 年度アニュアルレポートとフォーム20-Fおよびナットウエスト・マーケットズPlcの2023年度アニュアルレポート上の「リスク要因」、ナットウエストグループの2024年度上半期中間報告書とナットウエスト・マーケットズPlcの2024年度上半期中間報告書上の「リスク要因サマリー」に記載された諸要因から生じる変化が含まれます。これらは「将来予想に関する記述」に該当する。

Slide 23: 1. 四捨五入の影響で合計に差異が生じる場合がある。

Slide 25: 1. 純金利マージン(NIM)=グループ全体の純金利収入(NII)公表数値/グループ全体の有利子運用資産平残。

Slide 27: 1. ナットウエストグループplcについてはバンキングビジネスの有利子運用資産平残のグロスイールド;個人向けバンキング部門、コマーシャル&インスティチュショナル部門、およびプライベートバンキング部門についてはサードパーティの顧客資産にかかる利率。2. ナットウエストグループplcについては有利子負債の調達コストと無利息資金から得られる恩恵の合計;個人向けバンキング部門とコマーシャル&インスティチュショナル部門については有利子預金と無利息型預金の双方を含むサードパーティの顧客資産にかかる利率。

Slide 28: 1. 本ページの表作成における基準は2022年12月以降変更された。アルスター銀行アイルランドは表中に含まれていない。さらに、“その他”のカテゴリーも用いられていない。クーツ&カンパニーにおけるヘッジブックは現在はプロダクトヘッジとエクイティヘッジに振り分けられており、RBSインターナショナルにおけるヘッジブックはプロダクトヘッジとして認識されている。

Slide 29: 1. ナットウエストグループ2024年度上半期中間報告書74ページ、ナットウエストグループ2023年度アニュアルレポート266ページ、ナットウエストグループ2023年度上半期中間報告書73ページを参照。

Slide 30: 1. 四捨五入の影響で合計に差異が生じる場合がある。

Slide 31: 1. 経済予測の前提条件の詳細全容は以下を参照: 2024年度上半期中間報告書18ページから21ページ、ナットウエストグループ2023年度アニュアルレポート191ページから196ページ、ナットウエストグループ2023年度上半期中間報告書19ページから22ページ。2. 平均値の計算方法は2023年度上半期以降に変更された。現在は平均値は5年間の暦年を用いて平均値を算出する(例えば、2023年度上半期に示す数値は2023年から2027年の暦年5年間)。比較可能となるよう過去の会計年度についても同様の計算方法を用いる。各種パラメータの平均は以下の通り: GDPPIには暦年5年を用いた複合年間平均成長率(CAGR); 失業率には暦年5年を用いた平均値; その他指標には前年第4四半期から今年第4四半期の期間を一年とみなし5年CAGR。

Slide 33: 1. 2024年度上半期時点における全貸出金ポートフォリオの平均LTV率(%)。2. . 既に打ち切りになっているその他モーゲージ商品約2%を含む。3. GNLの前提は含まれず契約上の返済期限のみで満期を把握。4. 貸出金は償却原価とその他包括利益を認識後の公正価格(FVOCI)

Slide 34: 1. 2023年度は中期目標として掲げた普通株式等Tier1(GET1)比率13~14%を使用。2. 規制上の自己資本所要条件が変化しないとの前提を置き算出。3. その他システム上重要な金融機関(O-SII)バッファ1.5%はリングフェンシング対象の銀行持株会社に適用される。同義のその他システム上重要な金融機関(O-SII)グループリスク追加資本は約1.2%。同グループリスク追加資本はグループ全体に対し規制監督上最低所要として課される自己資本に含まれる。4. 英国のカウンターシクリカルバッファの所要比率は2022年12月13日付で0%から1%に引き上げられ、2022年7月5日には同比率を2023年7月5日より1%から2%へ更に引き上げる旨が発表された。5. 第2の柱A所要額は今後変更される可能性があり、年に最低一度の見直しが必要。第2の柱A所要額のうち56.25% は普通株式等Tier1適用の自己資本で構成されなければならない。6. カウンターシクリカル・レバレッジ比率バッファはナットウエストグループのカウンターシクリカルバッファの35%に設定。上述した通り、英国のカウンターシクリカルバッファは2023年7月5日付けで1%から2%に引き上げられた。海外でのエクスポージャーに対しては、それぞれの当該国当局が定めた規制に従い、異なる比率が適用される場合もある。

注意事項

免責事項

本プレゼンテーションで述べられるガイダンス、目標、期待、傾向は、ナットウエストグループの経営陣による現時点における期待を示しており、今後変更される可能性があります。変更には、ナットウエストグループplcの2023年度アニュアルレポートとフォーム20-Fおよびナットウエスト・マーケッツPlcの2023年度アニュアルレポート上の「リスク要因」、ナットウエストグループの2024年度上半期中間報告書とナットウエスト・マーケッツPlcの2024年度上半期中間報告書上の「リスク要因サマリー」に記載された諸要因から生じる変化が含まれます。

将来予想に関する記述に関する注意事項

本プレゼンテーションの一部のセクションには、1995年米国私証券訴訟改革法で定義されている「将来予想に関する記述」が含まれています。「将来予想に関する記述」は、例えば、「期待」、「予想」、「推定」、「予測」、「誓約」、「～と思われる」、「～すべき」、「意図」、「意思」、「計画」、「可能性」、「確率」、「リスク」、「バリュアットリスク(VaR)」、「ターゲット」、「目標」、「目的」、「～するかもしれない」、「努力」、「見通し」、「楽観的」、「見通し」、及びこれと同様の表現又はそのバリエーションを含む記述を指します。本プレゼンテーションにおいて、具体的には、収益増加、営業費用、有形資本利益率(RoTE)、株主資本利益率(ROE)といった財務パフォーマンスを示す指標、任意の資本配分目標、貸出金償却率、リスクアセット(RWA)削減を含むバランスシート縮小、普通株式等Tier1(CET1)比率(および同比率を左右する、タイミング、影響度、詳細等の主要因)、英国銀行のベース金利、第二の柱その他の規制資本パッケージ所要額と適格債務最低基準(MREL)、ナットウエストグループの最注力分野である気候変動とサステナビリティ関連分野でのパフォーマンス意欲、気候変動とサステナビリティ関連調達およびファイナンス(CSFF)、ファイナンスドエミッションといったネットゼロ経済へ移行するための具体策とそれらに関する数値目標など、財務以外のパフォーマンス指標も将来予想に相当する目標値やガイダンスに含まれます。さらに、ナットウエストグループの戦略の実行(たとえば、コスト管理策、コマercial&インスティテュショナル部門、計画通りの期間内での様々な数値目標の達成など)、訴訟及び政府機関や規制当局による調査のタイミングとその結果、政府保有株の直接買入と市中自社株バイバック、資金調達および信用リスクプロファイル、自己資本ポジション管理、流動性比率、ポートフォリオ、ネットインテレストマージン(NIM)と同マージンを左右する要因、貸出金増加と収益拡大、プロダクツの市場シェア、注力対象セグメントでの事業拡大、貸出金償却費用と減損処理損、業務改編と修復に伴う費用と支払い、政治リスク、経済動向を測る前提とリスク、気候/環境/サステナビリティ関連リスク、オペレーショナルリスク、素行リスク、金融犯罪リスク、サイバーリスク、データとITリスク、信用格付リスク、金利リスク、為替リスク、商品及び株価リスク等種々の市場リスクに対するナットウエストグループのエクスポージャー、ネット・プロモーター・スコア等の顧客体験、従業員の就業意欲や経営陣のジェンダーバランス等、これらのリスクが本書における将来予想に関する記述に含まれますが、項目はこれらに限定されません。

将来予想に関する記述に内包される制限事項

こうした記述は現時点での計画、期待、推定、目標、予測に基づいており、多大な固有リスク、不確定要素、あるいは外的要因、ナットウエストグループの戦略や事業に関連するその他の要因によっても左右され、将来予想に関する記述として明示的あるいは暗示的に示されている現時点の計画、期待、推定、目標、予測、期待値をナットウエストグループが達成できない可能性があります。さらに、上記エクスポージャーの一部は、主要なモデルの特性や前提条件に基づいて選択されており、経営側が立てる前提条件や推定値といった様々な制約にも依存しています。そうした性質上、上記エクスポージャーの一部は単なる推定値に過ぎないため、将来の実際の業績、利益、損失は推定値から大きく乖離する可能性があります。従って、これら将来予想に関する記述には過度に依存すべきではありません。本プレゼンテーションに含まれる「将来予想に関する記述」は本プレゼンテーション作成日現在においてのみの記述であり、当日付以降に発生した事象、状況、または環境の変化により当社の期待に変更が生じた場合でも、法的義務を負う場合を除き、不測の事象の発生を反映させるために「将来予想に関する記述」を更新・改訂するいかなる義務や責任を負いません。

将来予想に関する記述の実際の結果に影響を与える可能性のある重要要因

数多くの重要要因が原因となり当社の業績や戦略実施能力に負の影響が及び、目標、予想、期待、その他想定されていた結果が達成を妨げられたり、本書に記載された将来予想に関する記述の正確さが損なわれる可能性がある点にご注意ください。それらの要因には当社が米国証券取引委員会(SEC)に提出したF-20上のナットウエストグループのアニュアルレポートおよび米国証券取引委員会(SEC)提出されたその他書類に詳述されたリスク要因が含まれますが、それらに限定されません。ナットウエストグループの将来の業績、財務状態、将来性等に悪影響を及ぼし予想あるいは期待されていた結果から実績を大きく乖離させる可能性を持つ主要なリスクや不確定要素には、経済・政治リスク(例えば、GDP拡大、インフレーションや金利、財政政策や金融政策上の変更(例えば準備金積立に関する変更や銀行税の増加など)、サプライチェーンの中断、地政学的動向など);金利および為替レートの変動;プレグジット効果にまつわる不透明性;英国財務省がナットウエストグループに及ぼす多大な影響力や、英国財務省が保有する当社株式の今後の売り出しやオファーが当社のレピュテーションや株価にネガティブに作用する可能性など);戦略リスク(例えば、ナットウエストグループの戦略実行開始;将来の買収あるいは事業売却(アイルランドからの段階的撤退を含む));財務柔軟性リスク(例えば、ナットウエストグループが目標値を達成する能力や任意に資本分配できる能力;競争環境;カウンターパーティーリスクと借り手リスク;流動性リスクと調達リスク;ブルーデンス規制機構による自己資本規制および適格債務最低基準(MREL);信用格付の格下げ;規制ストレステストの要求事項;モデルリスク;会計ポリシー、経営判断、推計値、前提条件に対する感応度(およびそれら判断/推計/前提に影響を与える経済/気候/競争/その他の将来予測に相当する情報);適用される会計基準の変更;クレジジットプロテクションの価値あるいは効果;ブルーデンス規制機構とイングランド銀行によるナットウエストグループに対する将来的評価の適正度;金融システム安定と銀行処理を目的に英国が行使する法的パワー等に繋がるリスクなど);気候変動とサステナビリティリスク(例えば、気候変動やサステナビリティに関係するリスク;ナットウエストグループの気候変動戦略や意欲、目標、移行計画における実行能力およびレピュテーションリスク;気候分野でのデータリスクとモデルリスク;気候変動に対し弾力的に対処を進めるガバナンス、システム、制御、手続きの実行の失敗;気候/環境/人権/サステナビリティに関する規制や監視の強化;見せかけの気候変動対策に対する規制の増加;気候/環境/サステナビリティに関係する訴訟、強制手続、調査、および不正行為リスク;ESG格付の格下げなど);オペレーショナルリスクおよびIT対応リスク(例えば、オペレーショナルリスク(サードパーティ・サプライヤーへの依存など);サイバー攻撃に晒される事象;データの正確度と効果的使用;複雑なITシステム;ダイバーシティを持たせたシニア経営者と高スキル従業員の確保、維持、育成;ナットウエストグループのリスク管理体制;およびレピュテーションリスク);法的・規制・問題行為リスク(例えば、厳しい規制・監視の対象になった際の影響;司法、規制あるいは政府による措置や調査の結果とそれに対する解決策の実行;税法の変更あるいは将来の課税所得の創出失敗)などが含まれますが、それらに限定されません。

気候変動およびサステナビリティに関する開示

当社が従来開示してきた財務情報は国際財務報告基準(IFRS)に則した報告であるものの、本文書に記載された気候変動およびサステナビリティに関する開示部分はIFRS基準に厳密に即しているわけではなく、気候・サステナビリティ関連の資金調達およびファイナンス業務の分類を算出するにあたっては、当社による判断/前提/推計を従来以上に多用します。この目的に用いられる当社判断/前提/推計は将来変更される可能性が極めて高く、開示対象期間がより長期に渡る場合には当然ながら開示数値により顕著な不確実性が伴います。さらに、気候変動対処への移行計画開始を含む当社の気候リスク分析とネットゼロ戦略は目下作成中であり、分析と戦略の根拠に用いるデータ群は今後改訂の対象になる可能性があります。当社が取り組む気候問題とサステナビリティ関連のパフォーマンス測定に用いるデータを定義し蒐集し報告するための適用プロセスは、国際財務報告基準(IFRS)に従った正式な財務報告に適用されているプロセスとは異なります。また気候及びサステナビリティ関連のメトリクスを測定し定義する目的で業界スタンダードやグローバル基準が認識、確立されているわけでもありません。従って、本資料内の気候およびサステナビリティ関連ディスクロージャーの一部は今後、修正/改訂/再計算/数値変更が為される可能性があります。本文書に加え、2023年度ナットウエストグループ気候変動関連ディスクロージャー報告書に掲載された「気候変動関連その他の将来予測に関する記述とメトリクス」の章を参照してください。

国際財務報告基準に即さない財務指標および代替的業績指標に関する注意事項

ナットウエストグループでは一般会計原則(GAAP)に従い財務諸表を作成しています。本文書には一般会計原則あるいは国際財務報告基準には必ずしも即さない(Non-IFRS)指標やレシオ、欧州証券市場監督局(ESMA)がガイドライン上で定義する代替的業績指標(APMs)に相当する指標やレシオを含んでいる可能性があります。国際財務報告基準には必ずしも即さない(Non-IFRS)指標や代替的業績指標(APMs)の提示にあたっては、特記事項等の項目を調整した上で指標が算出されますが、これら調整対象項目は当社事業のパフォーマンスの実態を表す数値とは言えず、毎期ごとの業績比較を歪めかねないと経営陣が考える項目です。国際財務報告基準に即さない指標(Non-IFRS)は、期末業績に一貫性を持たせ、一過性の高い要素についての情報を当社財務諸表の利用者に提供します。本文書内で扱われる国際財務報告基準に即さない指標(Non-IFRS)や代替的業績指標(APMs)は、国際財務報告基準の適用範囲内にはあらず、不確実性と将来の変更を伴う幾つもの前提条件に基づき算出されており、国際財務報告基準に即する指標を置換するものではありません。本書で提示された情報・記述・意見は、いかなる管轄地域における公募、又は有価証券や金融商品の販売の申し出や、購入の申し出勧誘、又はかかる有価証券や金融商品に関する助言や推奨を行うためのものではありません。

本資料は、英文資料である原文を日本語に翻訳したものです。本資料と原文とが異なる場合、常に原文が優先いたしますことをご承ください。